私たちの町議会

めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information

2024.11.12 | No. 267

議会だよりの表紙は、無限の可能性をイメージし子どもを掲載しています。

令和６年９月定例会議 一般質問

町政のそこが聞きたい 一般質問

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

年４回開催される定例会議（６月、９月、12月、３月）で一般質問することができます。

９月定例会議の一般質問には、８人の議員が登壇しました。紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。

10月臨時会議を開催

10月９日(水)に開催した臨時会議では、公園内の草刈り作業中の物損事故による損害賠償額の専決処分報告１件を受理しました。

また、令和６年度芽室町一般会計補正予算(第６号)は予算決算特別委員会に付託して審議され、「原案のとおり可決すべきもの」と決定し、その後の本会議で可決されました。

10月補正予算

一般会計総額は137億2,184万４千円に

一般会計

項　目	補正額	主な事業
総務費	816万5千円	選挙執行事務事業（衆議）
職員費	375万円	職員給与支払事務
合計	1,191万5千円	

審議した議案と各議員の賛否

種類	議案名＼議員名	菊池秀明	伊藤稔	木村淳彦	小笠原等	中田智惠子	橋本和仁	堀切忠	渡辺洋一郎	立川美穂	早苗豊	中村和宏	正村紀美子	常通直人	西尾一則	鈴木健充	梶澤幸治	審査結果	議決日
報告	専決処分について報告の件	採決はありません																受理	10/9
議案	令和６年度芽室町一般会計補正予算（第６号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決	

○…賛成、×…反対、－…議長のため採決には加わりません
欠…欠席、遅…遅参、除…地方自治法第117条の規定による除斥

次のページは「９月定例会議 一般質問」

町内小中学校における不登校児童生徒の実態及びその対応、対策等

木村淳彦（きむらあつひこ） 議員

1　町内対象児童生徒数の現状把握と分析における課題及び対応策は。
2　今後ますます増加が見込まれる不登校児童生徒に対する新たな支援策は。
3　不登校の理由には、家庭環境や病気など未然防止が困難なものと、いじめや教師との問題など未然防止が可能なものがあり、発生を最小限に抑えるための対応は。

程野教育長

1　不登校児童生徒数は近年著しく増加し、令和５年度にようやく減少に転じたが、小学校では急激な増加が見られます。主な理由は人間関係、学業不振、親子関係、不安などであり、令和３年度に策定した支援システムを基に各関係機関と連携して未然防止と早期対応を図る方針です。
2　教育支援センターにつながっていない不登校児童生徒への新たな支援としてメタバースの活用や校内教育支援センターの活用を検討しています。
3　生徒主体の授業、探究型学習、発達支持的な生徒指導を通して、個性や可能性、自己有用感等を育み、安全で安心な教育環境を提供しています。

一般質問を終えて　木村　淳彦

子どもの数が年々減る中、本町の令和５年度小中学校での不登校児童数は46名です。

不登校の問題は、学校だけの問題ではなく社会全体、地域の問題として捉えなければならない課題です。

また、学校に登校するだけが教育・学習の場だけじゃなく、多様性に心じた子どもの学ぶ、生活の機会が重要だと言われています。

教育委員会はもとより学校での対応は極めて重要であり、将来的な「社会的自立」を目標に、的確・適時に対応しなければなりません。

教育は、社会全体で担うもので、何でも相談できる近所付き合い・友人・親戚関係が以外と大切かもしれません。

そのことも含め、「魅力ある学校づくり」「多様性のある教育スタイル」「わかる授業」「居場所づくり」「絆づくり」など、学校果たす役割、教育委員会の役割、家庭、社会と、もう少し深い、議論・論戦が必要でした。

時代の変化に即した町民の功績をたたえる顕彰制度／町民の諸活動に対する報償、補助・助成制度のあり方

立川美穂（たちかわみほ） 議員

1　名誉町民の弔意に関して、価値観の多様化により遺族への意思確認が難しくなる中、生前の敬意を重視すべきでは。
2　町民栄誉賞は、同一人物への複数回の表彰は想定されていないが、オリンピック出場など特筆すべき功績があれば、顕彰や表彰の対象とすべきでは。
3　全国・全道要項は、制定から10年近く経過し、社会情勢の変化に伴い基準の見直しが必要では。
4　現行の「全国・全道要項」では町内在住の児童生徒のみを助成対象としているが、制定から20年近く経過した要項を社会情勢の変化を踏まえて見直す必要があるのでは。

手島 町長

1　偉大な功績のあった人物を慰労するにあたり、時代に合った方法を検討し、顕彰制度を見直してきた経緯があり、今後も被表彰者審査委員会の意見を踏まえて、社会情勢に即した対応を行っていきます。
2　審査基準を満たす同等以上の功績があれば、被表彰者審査委員の意見も参考に今後検討します。

程野教育長

3　助成制度の内容については、社会情勢や近隣自治体の制度を参考にしながら、要項の整理も含めて制度の見直しを検討します。
4　現状では高校の全国・全道大会出場の際、学校の後援会等から支援を受けており、支援対象範囲の拡大は検討していませんが、状況を踏まえて制度の見直しを検討します。

一般質問を終えて　立川　美穂

●顕彰制度について

名誉町民が亡くなった際には第三者委員会の諮問と議決を経て２００万円の弔慰金が支給されています。しかし、家族の在り方や価値観の多様化を踏まえると、今後は弔慰金の金額や制度の再考、ご存命時に敬意を表す方法の検討も必要ではないかと考えます。また、一度町民栄誉賞を受賞された方への再顕彰についてもパリ五輪出場などの功績を踏まえ、町長の考えを質しました。

●町民の諸活動に対する助成制度について

文化やスポーツ活動への支援策については、全国大会出場の高校野球とその他活動との支援手法の違いを解消すべく、教育長と議論しました。今後、町内の高校全体に対する支援策や要項の統一も視野に入れた見直しが行われるとのことです。すべての子どもたちに公正な支援が行えるよう、引き続き検討の経過を注視します。

地域包括ケアシステム推進の取組

1　地域包括ケアシステムにおける本町のこれまでの取組状況と進捗の評価は。
2　地域包括ケアシステム推進に向けた今後の課題と展望は。

渡辺洋一郎（わたなべよういちろう） 議員

手島 町長

1　令和３年度から８年度までを計画期間とする高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定し、地域共生社会の実現のため地域包括ケアシステムの進化・推進に取り組んでいます。介護保険事業所の連携促進や質的向上を図る協議会の設立を支援しましたが、システム構成機能間の理解と連携には課題があり、切れ目のない一体的な提供に向けた取組が必要です。
2　人口減少に起因する支援の担い手や支え手となる世代の急速な減少による影響が課題であり、今後は年齢などの属性に関わらず、家庭や生活に視点を置いた支援体制を整備し、障がい児者や子供への家庭支援にも着目することで、誰一人取り残さない地域包括ケアシステムと地域共生社会の実現を目指します。

一般質問を終えて　渡辺　洋一郎

芽室町に住むだれもが自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・看護・予防・生活支援を一体的に提供する体制のことを「地域包括ケアシステム」と言います。

年齢などの属性を問わない分野横断的な支援体制整備についても町は取組を進めています。この体制がつくられることによって、誰ひとり取り残さないまちづくりにつながると思います。

これからのキーワードは「住まい」、「地域ケア会議」、「人材確保」、「重層的支援」だと感じていますので、これからも町の取組みを注視し、政策提案もしていきたいと考えています。

今後に向けた多様な方々の防災対策

1　避難行動要支援者ごとの「個別避難計画」作成が市町村の努力義務とされ、現在の進捗状況と今後の取組は。
2　令和２年５月に内閣府男女共同参画局が作成した「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」の本町の取組状況と今後の見解は。

堀切　忠（ほりきり　ただし） 議員

手島 町長

1　現状では３町内会しか計画を作成していなく、今後は要支援者本人や家族の同意を得た上で、地域や関係機関との協力体制を確立し、計画作成の増加に取り組みます。
2　女性の視点でパーテーションや衛生用品を備蓄しており、今後も新たな物品の購入を検討する一方で、高齢者、障害者、乳幼児、外国人、病気やけが人を含む多様なニーズに対応すべく、防災対策と避難所運営を横断的に進めていきます。

一般質問を終えて　堀切　忠

災害時の「個別避難計画」作成については、毎年「災害時要配慮者登録一覧」や「避難行動要支援者名簿」が町内会長宛に送られてきますが、正直どのようにこの名簿をもとに「個別避難計画」を立てれば良いのかわからないという町内会が多いというのが実情だと思います。今回町長答弁で、「町の各課で連携し、要支援者の必要性の高い方から『個別避難計画』の原案を作成していきます」との答弁がありました。今後、町内会や福祉専門職とも協力し、災害時にも「誰一人取り残さない」取組に向けて一歩前進です。さらには、計画を立てて終わりではなく、避難計画に基づいた避難訓練も実施していく必要があります。災害はいつくるかわかりません、平時から備えていくことが必要だとあらためて感じました。

シティプロモーション推進の現状と今後の展望

1　シティプロモーション推進のための組織づくりはどこまで進んだのか。
2　地域ブランディング（地域のブランド化）の現状は。
3　今後のシティプロモーションについての見解は。

正村紀美子（まさむらきみこ） 議員

手島 町長

1　JA めむろ、商工会、観光物産協会などと情報交換をしているが、具体的な組織づくりには至っていません。
2　生産量日本一のスィートコーンを核として取り組んでいる。地域ブランディングを今後も推進していく組織づくりには至っていません。
3　まちづくりに参画するひとづくりと郷土愛の醸成を進め、交流人口、関係人口、定住人口を創出することで「稼ぐ地域の実現」を目指していきます。

一般質問を終えて　正村　紀美子

望む未来を確実に実現させるには遠回りでも地道な日々の取組を積み重ねていくしかありません。人口減少が進む中で地域の課題は山積しています。

たとえば、少子化が進む中で子育てや教育環境をどうするのか？介護サービス事業所が次々と閉鎖に追い込まれる中、高齢者が安心して暮らしていくための方策は？老朽化して使いづらいと以前から要望がある斎場の再整備計画の具体化は？…

行政の役割とは、こうした目の前にある課題に正面から向き合い、住民の声に耳を傾けながら、ひとつずつ着実に解決していくことだと思います。

町長の任期はあと2年。この限られた期間内にシティプロモーション事業をどこまで推進し、町の抱える課題解決に具体的成果をあげていくのか、今後も確認していきます。

聴覚補助器等の積極的な活用への支援

1　日本の高齢者が社会の一員として健康に生活するには、聴力低下を補う聴覚補助器を適切に選択し利用できる環境を整備すべきでは。

中田智恵子（なかたちえこ） 議員

手島 町長

1　高齢者に対し聞こえのセルフチェック票を活用し適切な補助器具の使用を促すため、専門医受診を勧奨しているほか、出前講座や広報で補助器具の重要性を周知しています。

一般質問を終えて　中田　智恵子

聴覚の維持は生活の質向上や認知症予防につながり、難聴の早期発見と専門医につなげる取組が重要ですが、補聴器の所有率が低いのが現状です。役所等の相談窓口に老眼鏡はあっても、耳の聞こえにくい方向けには何もないことから、意思疎通に役立つ「軟骨伝導イヤホン」を窓口等に設置することを求めました。声を大きくする必要がなく、個人情報や相談内容が周囲に漏れるのを防ぐことができます。イヤホンのモデル的な導入について前向きな答弁を頂き、お試し利用から積極的な情報提供の機会に繋がればと期待します。併せて補聴器助成についても前向きな答弁を頂き、今後の検討経過について注視して参ります。

農作物有害鳥獣対策の強化

菊池秀明（きくちひであき） 議員

1　「農作物有害鳥獣対策」に係る取組について、これまでの成果と課題、今後の展望は。
2　「有害鳥獣駆除事業」における現状の体制や実施状況も踏まえた課題認識、今後の展望は。
3　町の基幹産業である農業を有害鳥獣の被害から守るための将来ビジョンは。

手島 町長

1　有害鳥獣による被害への対策として、町は猟友会への支援を行っており、捕獲数は一定数を維持しています。しかし、被害額は6,000万円から7,000万円で推移しており、引き続き効果的な対策の検討と関係機関との連携強化が必要です。
2　猟友会員の高齢化と後継者不足が課題となっていますが、近年20-30代の若手会員が増えており、町は農家の自衛意識の醸成と狩猟免許取得の推進により、持続可能な有害鳥獣駆除体制の構築を目指しています。
3　駆除のみならず複合的な対策を講じ、関係団体や北海道と連携し、猟友会との信頼関係を重視しながら、総合的な有害鳥獣対策に取り組みます。

一般質問を終えて　菊池　秀明

今回の一般質問では、本町における農作物有害鳥獣対策の強化についてのこれまでの成果と課題認識、今後の取組について質問をしました。

現在までにハード・ソフト両面において環境整備や対策がしっかりとなされてきたことを再確認できました。

また、ソフト面においては、有害鳥獣駆除における従事者が抱える課題も交えて、実態の把握度合いの確認を行い、環境のアップデートについての提案もさせていただきました。本町としても担い手育成も踏まえた従事者の環境のアップデートには前向きな姿勢であることがわかりました。

この事業については、本町の基幹産業である農業（一次産業）を守る上で重要な取り組みとなりますし、食の安全保障の観点で言えば国にとっても大切な取り組みとなるところですので、今後更なる成果を期待して取組を注視していきます。

会計年度任用職員の待遇改善と町財政への影響

中村和宏（なかむらかずひろ） 議員

1　会計年度任用職員に対する勤勉手当の定義、導入における検討経過及び課題、対象条件、算出根拠、全体影響額、導入目標時期は。
2　会計年度任用職員の人材確保の状況と担当業務の事業手法について、現状、課題、今後の展望は。

手島 町長

1　勤勉手当の定義については、勤務成績に応じた評価に基づく手当と認識しており、人事考課制度実施方針との整合性を図り、時間をかけて検討してきた。さまざまな課題を整理した上で、令和７年度から支給するとしたもので、6,800万円程度の財政負担は生じるが、対象職員に等しく支給することを第一に考え、決定しました。
2　保健師・看護師等の有資格業務や公園管理等の特殊性がある業務は、人材確保に苦慮している状況にあります。人材確保は大きな課題であるが、実効性のある取組を調査研究し、DX の促進に努めていきます。

一般質問を終えて　中村　和宏

本町における会計年度任用職員の任用数は正職員とほぼ同数であり、この傾向は制度適用当初から継続しています。会計年度任用職員は、町職員として正職員同様に重責を担う役割であることから常に適正な待遇とし、同時に町全体の財政への影響にも配慮し、計画的な運用に努めるべきと考え、質問しました。勤勉手当の導入については、課題を整理し、令和７年度から導入との答弁がありました。

また、会計年度任用職員は補完的な役割ではなく主体的な役割を担っているとの答弁がありました。正職員と同様に、まちづくりを進めていく上で会計年度任用職員の役割の重要性を再認識しました。

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会

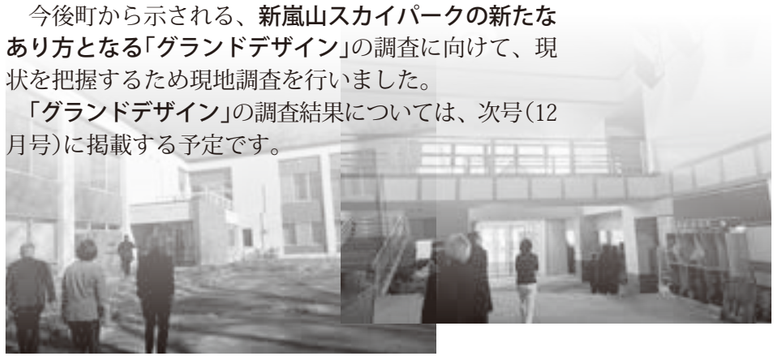
10/30　第３回特別委員会

「グランドデザイン」の調査に向けて現地調査終える

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会

今後町から示される、**新嵐山スカイパークの新たなあり方となる「グランドデザイン」**の調査に向けて、現状を把握するため現地調査を行いました。

「グランドデザイン」の調査結果については、次号（12月号）に掲載する予定です。



厚生文教常任委員会

第11回　10/17（木）

●９月５日提供の学校給食について

９月５日に学校給食で提供された「茹で麺」が、同じメーカーで同じ日に製造した給食の麺で、他市町村で変色や異臭が確認された件の原因究明と調査結果、今後の対策について説明がありました。原因の究明には至らなかったが、製造業者から提示された改善点や衛生管理基準の強化、保健所の検査結果などを総合的に考慮したうえで茹で麺の発注を11月より再開する方向とのことでした。

委員からは「事前に委託業者の工場等の確認をしてはどうか」等の質疑、意見が出されました。

●基幹相談支援センターの設置について

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条の２に規定された基幹相談支援センターを令和７年４月に設置するとの説明がありました。

委員会として、事業の詳細を理解する必要があり、継続調査することとしました。

町民との意見交換

「どんぐり会との意見交換会」

厚生文教常任委員会が７月18、19日に行った先進地事務調査について、中村委員長が報告しました。

どんぐり会からは、障がいを持たれる方の生きづらさについて、それぞれお話がありました。また、「老齢社会福祉制度に移行する65歳以前に日常の生活支援を受けることができる知的障がい者向けの施設の拡充を望む」との要望も出されました。

総務経済常任委員会

第６回　10/９（水）

●空家等対策事業について

空家等対策計画策定後の取組状況及び今後の予定している取組についての報告と説明を受けました。

委員からは「本事業における都市経営課の担当業務」や「魅力想像課との役割分担」について質疑があり、「都市経営課は一義的な対応窓口であり、良好な住環境創出を目的とした整備が担当事務となる」「空家の活用に関しては魅力創造課が相談にあたる」との答弁がありました。

本事業において、庁舎内でトータル的に取り組むことが必須かつ重要であり、担当毎の情報共有が十分とは言えないことを危惧するものであり、継続調査をしていきます。

●地域集会施設再整備計画について

計画について、集会施設毎の現況及び取組の進捗状況や予定について報告と説明を受けました。

委員からは「災害対応についての進め方」について質疑があり、「耐震基準時の確保は重要であり、地域協議に精力的に進めていきたい」との答弁がありました。

本事業においては、地域との協議について進捗状況を委員会として調査を進めていきます。

議会運営委員会

第16回　10/17（木）

●「議長から議会運営委員会に諮問書が手交」

10月17日に開催された第16回議会運営委員会で、令和６年度議会活性化計画の主要３項目の一つである「多様な議員なり手の実現に向けた環境創出」に必要な「適正な議会運営に必要な議員定数・議員報酬」についての答申を求めるため、議長から議会運営委員会に諮問書が手交されました。来年度にかけて結論を導き出すために、議会内での協議を進めていきます。

10月の委員会活動報告
（委員が執筆しています！）

次のページは「議会白書」「12月定例会議の案内」「表紙の写真」「編集後記」

議会白書

議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名			日時 会議時間	休憩時間	実質時間	議　件	傍聴人数	ネット中継アクセス数
本　会　議	10月臨時会議		10月９日 9:30～9:47	0:10	0:07	１．専決処分について報告の件 ２．令和６年度芽室町一般会計補正予算（第６号）	0	(101)
全員協議会		第11回	10月９日 10:00～10:23	0:00	0:23	１．議員勉強会のまとめについて	0	(101)
		第12回	10月30日 9:30～10:02	0:09	0:23	１．議会費補正予算案（12月定例会）について ２．一般質問の通告方法の改正案について　他	0	(6)
常任委員会	総務経済	第６回	10月９日 10:45～11:43	0:04	0:54	１．空家等対策事業について ２．地域集会施設再整備計画について	0	(101)
	厚生文教	第11回	10月17日 13:30～14:36	0:03	1:33	１．９月５日提供の学校給食について ２．基幹相談支援センターの設置について　他	2	(49)
議会運営委員会		第15回	10月３日 9:30～9:51	0:01	0:20	１．令和６年芽室町議会定例会10月臨時会議の運営について ２．議会だより10月号の編集について　他	1	26
		第16回	10月17日 14:50～15:29	0:00	0:39	１．９月定例会議の振り返りについて ２．議会費補正予算案（12月定例会）について　他	0	(49)
新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会		第３回	10月30日 10:05～11:06	0:58	0:03	１．令和６年度メムロスキー場の運営について（現地視察）	0	(6)
編集企画会議		第６回	10月30日 11:10～11:30	0:00	0:20	１．議会だより11月号の編集について ２．議会だより12月号の編集企画について		※
小計			6:07	1:25	4:42		計３	平均54.9
芽室町・広尾町議会議員うみやま議員研修会			10月15日 10:30～14:00	1:00	2:30	・重要港湾「十勝港」概要説明 ・池下産業㈱「Revo Fish」視察		※
どんぐり会と厚生文教常任委員会との意見交換会			10月17日 18:30～20:00	0:00	1:30	意見交換テーマ 「障がいを持たれる方の生きづらさについて」		※
小計			5:01	1:00	4:00			
合計			11:07	2:25	8:42		計３	平均54.9

ネット中継アクセス数　（　）同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示
※ インターネット中継を実施しなかった会議

表紙写真

10月13日(日)に北海道中学校駅伝競走大会がありました。芽室中学校は予選会を勝ち抜き、男子と女子22チーム参加しました。結果は女子が準優勝に輝くことができました。男子も全員力を出し切ることができました。多くの町民の皆さまの応援ありがとうございました。

12月定例会議のご案内

3日	9：30～	初　日
17日	9：30～	一般質問
18日	9：30～	一般質問
20日	9：30～	最終日

議会傍聴で
芽室の未来が見える！

インターネット中継は
コチラから視聴できます。
（過去の録画もあります）

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

編集後記

■令和6年度も半年が経過したことを受け、年度当初に計画した事業の進捗や変更点、また見落としている重要な視点がないかなどについて、常任委員会で活発な議論が行われました。常任委員会では、特に町民の関心が高い事業を積極的に調査しています。詳細は、議会のホームページでご確認いただけますので、ぜひご覧ください。

正村紀美子

■衆議院議員選挙がありました。人口減、少子化、物価高騰の問題が山積する時、日本、自分たちの将来を託す選挙です。投票率が全国53・85％、芽室町は62・91％でこのような低調な投票率良いのだろうか。特に若い層が低く、DX時代投票のあり方も考える時期かな。

西尾一則

■紅葉の季節も終わりを迎え、暦の上では立冬となり、そろそろ初雪の便りも届く頃となり冬支度も本格的になってきました。毎年のことですがこの時期は特にインフルエンザの予防をはじめ風邪などひかないよう体調管理に努めましょう。

常通直人

●発行　北海道芽室町議会
●編集　議会運営委員会
●発行開始年月日　昭和56年7月

〒082－8651　北海道河西郡芽室町東2条2丁目14
TEL　0155－62－9731　FAX　0155－62－9813
メール　g-shomu@memuro.net
ホームページ　http://mgikai.memuro.net/gikai.htm

LINE@
友だちになってね!!
@memuro-gikai2014

芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト
▶ スマートフォンサイトを見る

公式X（旧Twitter）アカウント
@memuro_gikai

公式facebookページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai

随時
更新中